

親子聖書日課

NO.1893 2025.1/5-11

名前

[日]復活の夜明けが近づいても、絶望の夜を過ごす人がいます。復活の命を知らないからです。主を信じた時から、夜(死)は消え去ります。見張り人のように、必死になって、主の救いを伝え、一緒に復活の朝を迎えましょう。夜明けは近い！

[月]「幻の谷」とは、エルサレムのことです。そこは谷に囲まれ、自然の要害でした。人々はそのこにいれば安心だと、目に見えるものにより頼み、神には頼りませんでした。しかし、神への信頼をなくせば、どんな深い谷も、高い山も、幻に終わります。

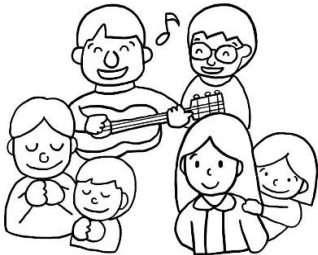
[火]ティルスは海洋貿易で栄えた町で、金儲けのためなら、節操のないことを平気で行ったので、遊女に譬えられ、その経済的利益は「遊女の報酬」と呼ばれました。しかし、その報酬も無に帰します。主の前に富むことこそ、永遠の報酬を受けます。

[水]24-27章は「イザヤの黙示録」と呼ばれ、終末の希望が語られています。世の終わりは、神の裁きの時で、行いではなく、主に従ったかどうかで裁かれます。「主に従う人に誉れあれ」との賛美が全地に響きますから、主の救いを伝えましょう。

[木]「主は全ての顔から涙をぬぐい」とは、黙示録21:4に出てきます。死は人生最大の敵です。愛する人を無残にも引き離します。その死を主は永遠に滅ぼし、涙をぬぐい去って下さるのです。それが主の復活です。この喜びを伝えましょう。

[金]平和は、権力や武力によっては得られません。主を信頼してこそ得られます。「どこまでも主を信頼せよ」とは、例え、相手が戦いを挑んだとしても、非暴力を貫き、迫害する者のために祈ることです。主イエスは、まさにそのように生きられました。

[土]怪獣レビヤタンはバビロン、竜はエジプト、見事なぶどう畑はイスラエルを指します。私達は罪深い者であっても、見事なぶどう畑ですから、主と和解することによって、生涯豊かな実を結び、喜び歌えます。主によってこそ、人生はやり直せます。



	聖書	問題	答え
日	イザヤ 21:1-17	何は近づいていますか。	
月	22:1-25	お前たちが「死ぬまで、この罪は決してどうされることはありませんか。	
火	23:1-18	主は御手を海に伸ばして国々をどうされますか	
水	24:1-23	どうする人に誉れあれと地の果てから、歌声が聞こえますか。	
木	25:1-12	主は死を永久にどうして下さいますか。	
金	26:1-21	あなたにどうするゆえに平和が与えられましたか。	
土	27:1-13	わたしと何をするとよいですか。	
感想と祈りの課題			